

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	トロリーバス開通50周年記念事業 (くろよん50周年継続事業)
事業主体 (連絡先)	くろよん50周年記念事業実行委員会
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	901,264円

【成果品等画像】

事業内容

- ①黒部ダムの麓はしごスタンプラリー
運営ルール等を変更、お客様が参加しやすい事業に転換。実施期間を7月～8月まで短縮し集中させた。
- ②黒部ダムの麓「破碎ロック」：くろよん建設当時流行ったお酒を復刻。市内飲食店で展開し情報発信も強化した。
- ③くろよんセール：“964”の数字を活用したセールを実施した。
- ④樽みこし大作戦：アルパルト玄関口の宿泊エリアでおもてなしイベント用として市内3蔵の酒樽を活用しみこしを製作。
- ⑤トロバスぬり絵：イベント等でのぬり絵体験や園児の「ぬり絵展」など、様々な発信も行った。



【目標・ねらい】

- ①継続事業の改良
- ②参加事業者のモチベーションアップ

※自己評価【A】

【理由】前年度の反省点を踏まえ、お客様が喜んでいただける内容に改良した結果。お客様だけでなく、事業協力をいただいた参加者らが楽しみながら実施していただくことができた。

印刷部数 2,500部

事業効果

- ①期間 7/11～8/31、参加店舗 79店(前年 59店)
延利用者数 2,167人(平均 1,083人/月)
前年8ヶ月で2,390人(平均 298人/月)
- ②参加店舗 19店→24店、更に大町温泉郷・日向山エリアの旅館ホテルにて乾杯酒としてスタート(H27.4月から開始)
チラシ1万部、ホームページ運営の更新・相互リンク
- ③参加店舗 20件→22件(販売価格 94円～964万円)
折込チラシ印刷(2万部)、ホームページ掲載
- ④みこし担ぎ手関係者: 40名、イベント参加者: 約1,500名
- ⑤配布先: 市内保育園・幼稚園、小学校低学年、黒部ダム来場の子供たち、県内外キャンペーン等

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度にて当実行委員会は3年間の事業を完了し、解散となる。このため、次年度以降の事業実施については以下のとおり調整。

- ①この周遊するニーズを活用しながら、今後の方策を新しい形でできるよう検討していく。
- ②今後は黒部ダムを運営する事務局に移管予定。大町温泉郷等の乾杯酒チラシ等情報発信する。
- ③好評を頂いたので次年度以降については、運営母体を調整していく。
- ④次年度以降も黒部ダム関連イベント等で配布する予定。
- ⑤大町温泉郷で管理・運営予定。宿泊客へのおもてなしや、様々なイベント等、幅広く活用できるようにしていく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある